

1日1回 水虫・たむしに

ダマリンL

第2類医薬品
(水虫・たむし用薬)

水虫・たむしは、白癬菌というカビ(真菌)が皮膚表面の角質層等に寄生して起こる疾患です。白癬菌が皮膚表面の角質層等のケラチン質を侵すことにより、皮膚表面に炎症を起こし、激しいかゆみが生じます。◆ダマリンLは、有効成分のはたらきにより、白癬菌を殺菌し、水虫の不快な症状を改善します。◆1日1回の塗布で治療効果を発揮します。



使用上の注意

⊗ してはいけないこと

(守らないと現在の症状が悪化したり、副作用が起こりやすくなります)

次の部位には使用しないでください

- (1) 目や目の周囲、粘膜(例えば、口腔、鼻腔、膣等)、陰のう、外陰部等。
- (2) 湿疹。
- (3) 湿潤、ただれ、亀裂や外傷のひどい患部。



相談すること

① 次の人は使用前に医師、薬剤師又は登録販売者に相談してください

- (1) 医師の治療を受けている人。
- (2) 乳幼児。
- (3) 薬などによりアレルギー症状を起こしたことがある人。
- (4) 患部が顔面又は広範囲の人。
- (5) 患部が化膿している人。
- (6) 「湿疹」か「水虫、いんきんたむし、ぜにたむし」かがはっきりしない人。(陰のうにかゆみ・ただれ等の症状がある場合は、湿疹等他の原因による場合が多い)

② 使用後、次の症状があらわれた場合は副作用の可能性があるので、直ちに使用を中止し、この説明書を持って医師、薬剤師又は登録販売者に相談してください

関係部位	症 状
皮 膚	発疹・発赤、かゆみ、かぶれ、はれ、刺激感、熱感、落屑、ただれ、乾燥・つっぱり感、水疱、ヒリヒリ感

③ 2週間位使用しても症状がよくなる場合は使用を中止し、この説明書を持って医師、薬剤師又は登録販売者に相談してください



効 能

水虫、いんきんたむし、ぜにたむし

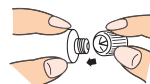
用法・用量

1日1回、適量を患部に塗布してください。

[注意]

- (1) 定められた用法・用量を厳守してください。
- (2) 患部やその周囲が汚れたまま使用しないでください。
- (3) 目に入らないように注意してください。万一、目に入った場合には、すぐに水又はぬるま湯で洗い、直ちに眼科医の診療を受けてください。
- (4) 小児に使用させる場合には、保護者の指導監督のもとに使用させてください。
- (5) 外用にのみ使用してください。

〈チューブの穴の開け方〉



キャップを逆さにして、突起部をチューブの先に強く押し当ててください。

成分

100g中

成分	分量	はたらき
ミコナゾール硝酸塩	1.0g	白癬菌を殺菌します。
クロタミトン	10.0g	患部のかゆみを一時的におさえます。
リドカイン	2.0g	患部のかゆみを一時的におさえ、痛みをしずめます。
グリチルリチン酸二カリウム	0.5g	患部の炎症を改善します。
尿素	3.0g	有効成分の浸透を助けます。

添加物：ステアリン酸ソルピタン、ポリソルベート60、自己乳化型ステアリン酸グリセリン、ステアリンアルコール、セタノール、プロピレングリコール、アジピン酸ジイソプロピル、アクリル酸メチル・アクリル酸-2-エチルヘキシルコポリマー、ポリオキシエチレンノニルフェニルエーテル、BHT、ピロ亜硫酸Na、エデト酸Na、ジメチルポリシロキサン、メチルセルロース

保管及び取扱い上の注意

- (1) 直射日光の当たらない涼しい所に密栓して保管してください。
- (2) 小児の手のとどかない所に保管してください。
- (3) 他の容器に入れかえないでください。(誤用の原因になったり品質が変わることがあります)
- (4) 使用期限を過ぎた製品は使用しないでください。
なお、使用期限内であっても、開封後はなるべくはやく使用してください。(品質保持のため)



水虫治療のポイント

白癬菌の寄生は、症状のあらわれている範囲より広がっていることが多いので、薬剤は広めに塗布しましょう。又、次のことに留意してください。

1 根気よく継続治療をする

かゆみがなくなっても、再発を防ぐため1ヵ月は本剤を使用しましょう。



2 患部を乾燥させる

通気性の悪い靴下やゴム長靴は好ましくありません。むれを防ぎ、乾燥に心がけましょう。



3 衣類も清潔にする

靴や靴下、スリッパ、浴室のマットも清潔に保ち感染に注意しましょう。



4 患部をよく洗って清潔にする

白癬菌増殖の抑制や二次感染を防ぐため患部をよく洗い清潔に保ちましょう。



この製品についてのお問い合わせは、お買い求めのお店又は下記にお願い申し上げます。

連絡先 大正製薬株式会社 お客様119番室

電話 03-3985-1800

受付時間 8:30~21:00(土、日、祝日を除く)



大正製薬株式会社

東京都豊島区高田3丁目24番1号

<http://www.taisho.co.jp>

副作用被害救済制度のお問い合わせ先

(独)医薬品医療機器総合機構 <http://www.pmda.go.jp/kenkouhigai.html>

電話：0120-149-931(フリーダイヤル)